

立体的な絵柄文字をつくってみる

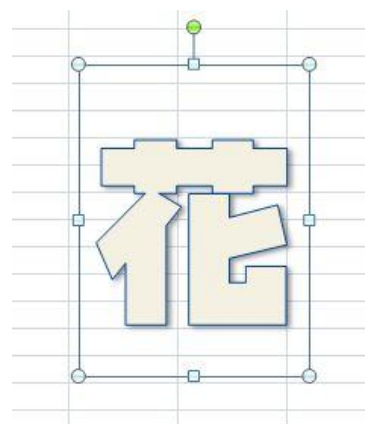
エクセル 2007 以降では、ワードアートへの 3D 書式を設定することができます。
この機能を使って、立体的な絵柄文字を作ってみます。

1. 絵柄となる画像を用意

イラスト集やインターネット上の無料素材から、絵柄として使用する画像をコピーしてきます。

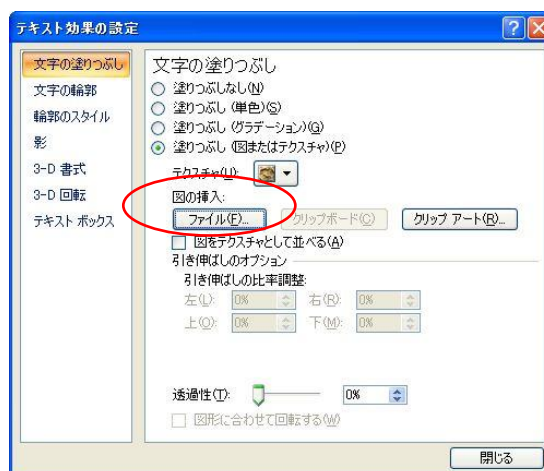
2. ワードアートの挿入

ワードアートを挿入し、1文字だけ入力します。
ワードアートの種類は、後ほど設定変更するため、何でもかまいません。



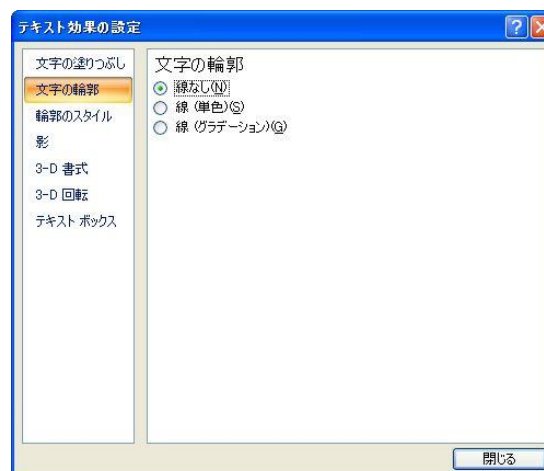
3. 絵柄で塗りつぶし

ワードアートの文字部分を選択して、
「書式」タブ
→「ワードアートスタイル」のダイアログボックスランチャー（グループ右下の小さなボタン）をクリック
→「文字の塗りつぶし」で「ファイル」をクリックし、1で用意した画像を選びます。



4. 線の消去

「文字の輪郭」で、「線なし」を選びます。



5. 影の設定

「影」は、好みで設定します。



6. 3-D 書式の設定

「3-D 書式」で、「面取り」「上」の幅や高さを増やしていきます。文字を見て、ちょうどいい感じに盛り上がれば OK。

「表面」の「質感」や「光源」は、好みのものを選びましょう。



7. コピー

出来上がりを確認し、OK ならば、ワードアートをコピーして、どんどん貼り付けていきます。



8. 貼り付けた文字（花）を、別の文字（ま）に変更。

3の手順で、別の絵柄に変更します。

また、6の手順で、面取りの大きさも調整します。作品のタイトル文字などに使ってみましょう。

